

○発行日：令和6年7月31日(水)
○発行：東京都合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内
電話：03-6457-3315
FAX：03-6457-3317
e-mail：info@tokyo-aikido.com
https://www.tokyo-aikido.com/
発行人：藤城 清次郎
編集責任者：美濃部 智子

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



理事長挨拶.....	2	新規加盟団体紹介.....	6
第40回 東京都合気道連盟評議員会.....	2	後援報告.....	6
令和5年度 少年部指導法講習会.....	3	加盟団体紹介.....	6
令和5年度 東京都地域社会合気道指導者研修会.....	3	訃報.....	7
令和6年度 東京都合気道錬成大会.....	4	新役員紹介.....	7
第61回 全日本合気道演武大会指導者演武(東京都).....	4	主要行事予定.....	7
生涯スポーツ功労者表彰.....	5	編集後記.....	7
生涯スポーツ優良団体.....	5	第40回評議員会資料.....	8



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

梅雨も明け、厳しい暑さが続く毎日ですが、皆様には、お元気で稽古にお励みのことと、ご拝察申し上げます。

日頃、皆様には東京都合気道連盟の活動にご理解、ご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

さて、去る四月二十日(土)には東京都合気道連盟第四十回評議員会が開催され東京都合気道連盟(以下都連)の新年度が指導致しました。

昨年度は四年ぶりの演武大会が、ほぼコロナ禍前の規模で開催することが出来ました。改めて加盟団体の皆様に感謝申し上げます。

来年度は再々申し上げておりますが都連四十周年の年を迎えます。これからと言う時、長く東京都合気道連盟の理事をお務め戴いた渡邊隆志氏(渋谷区合気道同好会代表)が三月三日に、同じく長く理事をお務め戴いた石原忠男参与(調布合気道会長)が四月二十八日に相次いでご逝去なされま

挨拶

した。長きに亘る貢献に心よりの感謝とご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、創立四十周年事業は来年に向け、現在、準備委員会が組織され会議を重ね、来年の本番に備えております。

都連は、連盟発足時道場長であられた植芝守央現道主が初代理事長として昭和五十九年(一九八四年)に結成なされ都連の礎を確りと築いて戴きました。翌昭和六十年、初代会長に田辺哲夫氏が就任され、平成六年(一九九四年)には、連盟結成十周年記念祝賀会が、植芝吉祥丸二代道主をお迎えし開催されました。平成十六年(二〇〇四年)には与謝野馨会長、小山謙二理事長の下、連盟創立二十周年記念演武大会が開催され、平成二十七年(二〇一五年)には、私藤城が理事長として植芝守央道主をお招きし創立三十周年記念演武大会を開催し、植芝守央道主に特別演武をご披露戴きました。

この歴史ある、合気会のお膝元にある全日本合気道連盟最大の加盟団体、都連には合気道を正しく大きく広める重い責務があります。

この長い歴史の中で、植芝守央道主、はじめ多くの関係者の皆様にお寄せ戴いたご厚情に感謝し、更に皆様に信頼され頼りにされる組織を目指し、役員、同力を合わせ行きたいと思ひます。

文末にあたり皆様のご健勝お祈りし、都連へのご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

第四十回 東京都合気道連盟評議員会

令和六年四月二十日東京都合気道連盟第四十回評議員会が日本教育会館「芙蓉の間」で開催された。出席四十五名、委任状百二十八名、定足数を超す評議員にご参加を頂いた。

開会に先立ち、去る三月三日七十四歳で急逝された故渡邊隆志理事に黙祷が捧げられた。

大田副理事長の司会により、藤城清次郎理事長の開会挨拶、続いて議長として定足数の確認と会議成立の報告がなされた。

議案一「令和五年度事業報告案」を小柳副理事長から、議案二「令和五年度収支決算案」を鈴木副理事長から報告があった。引き続き梶浦監事から「監査報告」がなされ一括して承認された。

又、議案三「令和六年度事業計画画案」を木下副理事長が、議案四「令和六年度収支予算計画案」を鈴木副理事長から説明があった。都内区市町村連盟化について質問があり、これに対する説明され、いずれも承認された。

議案五「役員の変更について」



「て」が神谷副理事長から説明があり承認され、梶浦真監事の監事退任及び理事就任、新たに板橋区合気道会野瀬輝男氏の監事就任が決まった。

続いて「その他」の事項で神谷副理事長から(公財)東京都体育協会名称変更による規約一部改正の提案がなされ、承認された。更に報告事項として、「東京都合気道連盟理事候補者選考に関する細則」について神谷副理事長から報告があり、了承された。また、「同意書」について小柳副理事長から説明があり、同意承認された。

この間、各評議員、尾崎响顧問からも数々の質問ご意見を戴き、都連に「コンプライアンス委員会の設置」の提案があり、議長から前向きに検討する旨答弁があった。活発な遣り取りがなされ、評議員会が終了し、その後「芙蓉の間」で情報交換会が開催され、評議員オプザーバー、役員、総計六十名以上が参加し成功裏に終了した。

本年度も皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

(記・藤城)

令和五年度 少年部 指導法講習会

令和六年二月二十五日(日)十二時～十五時 港区スポーツセンター武道場一において「令和五年度東京都合気道連盟少年部指導法講習会」が開催されました。

大田勤副理事長司会による開会式が行われ、主催者代表として藤城清次郎理事長が開会の挨拶、主賓である港区合気道連盟関根史郎会長、そして講師である鈴木俊雄本部道場指導部師範からお言葉をいただきました。

少年部の指導について師範は、まずは「身体づくり」、そして「体を動かすことを好き



になってもらうこと」とのお話があり、指導においては、バランスよく身体をつくっていくこと、そして少し負荷かけることも必要で、その達成がモチベーションにつながることや、いざというとき動くことのできる身体作りにつながるというお話もいただきました。併せてどう安全にそれらを行うかの工夫も大事とお話もありました。

その後、受け身の指導や少年部で実際やられているケンケン、スキップ、手押し車といったアクティビティそしてそれらの負荷をあげたバリエーションを紹介いただき、参加者による実技を行いました。バリエーションをつかって子供たちに飽きがないようすること、できる子供にはより負荷の高いバリエーションを活用すること、できない子供には一所懸命ならそれを認めてあげるといった配慮すべき点についての解説がありました。

また、横面打ち四方投げを例に、参加者が実際にどう教えるかを考え、代表者が指導のデモをするという時間もたれました。

最後に師範からは「指導においてうまくいかないときもある。工夫をすることやその熱意はかならず子供たちに伝わるから、どのような時でもその場に指導に立っている自分をほめてあげてください。」とお言葉をいただきました。

のち閉会式が行われ、講習会は終了となりました。参加者は六十三名、役員は十名参加をいたしました。その後、情報交換会もたれ、二十名の参加でした。
(記・井阪)

令和五年度 東京都地域社会合気道指導者研修会

令和六年三月二日(土)・三日(日) 東京都地域社会合気道指導者研修会が東京武道館で開催されました。

中央講師として(公財)合気会合気道本部道場指導部の櫻井寛幸師範、深浦徹也指導員が実技指導を担当し、地元講師として藤城清次郎東京都合気道連盟理事長、大田勤副理事長が講義、講習を担当しました。開会式では、東京武道館村上修史館長、中央講師櫻井寛幸師範、藤城清次郎理事長のご挨拶をいただきました。



二日午前、三日午前、午後、計三回に分けて、櫻井寛幸師範、深浦徹也指導員から「基本技とその体捌き」というテーマで実技指導をいただきました。いずれの回も転換そして呼吸法からはじまり、転換では腕を広げすぎないように肘を下に向けるように。また、技においては、三角形の頂点に相手を導き、そこから腕をひろげつつ力を伝えていく、崩しは腕で崩すのではなく体全体を使って相手を導くようにとのご指導がありました。そのご指導をベースに、初日は、片手取り・正面打ちからの技を、二日目午前には両手取り・横面打ち、午後は諸手取り・後両手取りと、沢山の技への展開と師範がこれまで積み上げてこられたものについてお話を伺いながらご指導をいただきました。

初日午後の講義は、藤城理事長により、講義A「第十一回合気道指導者研修会の報告とスポーツにおけるインテグリティとガバナンスコードについて」の講習が行われました。

講義Bは「合気道指導の手引き」を基にした中級者指導の一考察」ということで、大田副理事長から、学校における指導内容についてまとめた教本「合気道指導の手引き」をもとにその指導内容についての紹介、実技を交えた講習をいただきました。

全工程終了後、閉会式が行われ参加者には修了証が授与されました。参加者は三十一団体、五十一名、役員は三名でした。
(記・井阪)

令和六年度東京都合気道錬成大会

令和六年六月二十三日(日)、東京都合気道連盟主催による令和六年度東京都合気道錬成大会が東京武道館第一武道場にて、本部道場指導部桂田英路師範、深浦徹也指導員を講師にお招きして開催された。今年度の参加者は三十八団体、九十一名と昨年以上の参加があり、都連役員は十三名が参加した。十三時三十分、神谷副理事長の進行により開会式が始まり、藤城理事長から「今年度の錬成大会は、コロナによる制限も解除され、百名近い方に参加していただき感謝している。ここで学んだことを自分だけでなく、各道場に持ち帰って日々の稽古に生かして欲しい。」と挨拶された。

続いて、桂田師範及び深浦指導員の紹介があり、桂田師範より「挨拶を頂いた。

開会式の後、十三時四十五分から桂田師範による丁寧で熱のこもった指導の中、活気に充ちた講習会がスタートした。

片手取り呼吸法から正面打ち入身投げ、



座技正面打ち一教、正面打ち小手返しへと基本技が続いた。その後、桂田師範より、体幹を繋げて体が一体となるよう心がけること。呼吸を通して自分の中心を意識し、その姿勢を崩すことなく体全体を使って技をかけること。受けも、

最後まで気持ち切りさず体全体を使って受けをとること。など呼吸法及び体の使い方について説明され、横面打ちからの自由技・片手取り・後取りからの自由技へと移った。また、技をかける際は、相手の攻撃範囲の円を意識し、その円を囲む四角の位置から技をかけることを助言され、最後に座技呼吸法にて終了した。参加者も皆、師範の説明及び捌きを見逃さないよう真剣な眼差しで受講し、緊張感に包まれたうちに、一時間三十分におよぶ錬成大会を十五時十五分に無事終了し、その後閉会式が行われた。

このような貴重な錬成稽古を指導していただき、桂田師範および深浦指導員には、改めて深く感謝いたします。

(記・中島)

第六十一回全日本合気道演武大会指導者演武(東京都)

合気道新川塾

指導員 須藤 浩太

川岸 駿介

合気道新川塾の代表として推薦してもらい、全日本合気道演武大会で指導者演武に出場する機会を頂きました。そんな私を応援しようと団体演武に出場を決めてくださり、日本武道館デビューの方もいらっしゃいました。また、他道場の方も私事のように喜び、応援していただきました。この場をお借りして感謝の気持ちを伝えできたらと思います。ありがとうございます。

演武については、始まる前までは緊張しましたが、始まってしまえば、普段から切磋琢磨し合っている布施さん・田端さんに受けをお願いしたこともあり、緊張せず集中できたことで普段の稽古通り、繋がりを大事にした演武が出来たと思います。ただ、普段通りではない、あの研ぎ澄まされたような集中した感覚は、さらなる上達の一步を踏み出すヒントになれば、と思います。

道主、道場長、各師範、各団体の演武に刺激を受け、これからも「稽古は楽しく、技は厳しく」を胸に稽古に励みたいと思います。



合気道れいめい会

この度はこのような貴重な機会をいただきましたこと、藤城理事長をはじめ東京都合気道連盟の皆様にご心より御礼申し上げます。今大会の出場が決まっただけからは、大変恐縮な気持ちと、日頃より広域合同稽古や錬成大会にて胸を借りている先生方、先輩方、所属道場れいめい会の荒井清会長や会員の皆様のご指導に恥じない演武をしなければという引き締まる思いでいっぱいでした。

また、私事ですが、昨年十二月に右膝半月板を損傷し、大好きな合気道ができず苦しい時期もありましたが、今大会出場がモチベーションとなり、怪我を乗り越えることができました。

大変緊張しましたが、演武の際に見えてきた課題はしっかり道場に持ち帰り、また一から精進して参る所存でございます。

改めまして、この度は誠にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



生涯スポーツ功労者表彰

中央区合気会

指導部理事 大橋 健司



この度、東京都合気道連盟のご推薦をいただき、(公財)東京都スポーツ協会より生涯スポーツ功労者の表彰を受けました。合気道の活動に多くの方々が尽力されてきたなかで、このような表彰を受け、身に余る光栄と心から感謝しております。

私が所属する中央区合気会浜町道場は、昭和三十九年に久松警察署内の道場で発足し、四十二年の中央区立総合体育館完成を機に稽古場所を同体育館に移し、四十三年に中央区体育協会(現在の中央区スポーツ協会)に中央区合気道同好会(現在の中央区合気会浜町道場)として加盟。その後、五十三年に佃青年館(現在の月島スポーツプラザ)に佃支部(現在の中央区合気会佃道場)を開設。

この度、東京都合気道連盟のご推薦をいただき、(公財)東京都スポーツ協会より生涯スポーツ功労者の表彰を受けました。合気道の活動に多くの方々が尽力されてきたなかで、このような表彰を受け、身に余る光栄と心から感謝しております。

日本合気道演武大会



同年、中央区合気道連盟を発足して活動を続け、本年で六十年目を迎えます。発足当時は本部道場から故増田誠寿郎師範がご指導され、その後、鳥海幸一師範に引き継がれ現在に至ります。会員は糸田寛人会長のもと、小学生から八十代の方々迄、六十名ほどの会員が日々稽古に励み、合気会や東京都合気道連盟事業への参加、また中央区スポーツ協会の様々な事業に参画するなど活動をしています。

このような歴史ある道場に私が通い始めたのが、平成十二年一月でした。すぐに合気道の楽しさと稽古を続けるうちにその奥深さに魅了され、週四回ある稽古には毎回のように稽古に通い、現在でも週三回は欠かさず稽古参加しています。十年程前より初心者指導に携わり、現在では中央区スポーツ協会や諸先輩方の協力のもと、一般参加者、少年少女、未経験者クラスなどを担任させて頂き、合気道の楽しさや魅力を伝えるべく稽古に励んでいます。



常日頃、中央区スポーツ協会の活動に尽力されている方々や合気道に携わっている多くの方々のご協力のおかげで合気道が続けられています。今後も地元を根を張った生活を送り、地域コミュニティの一員としての義務と貢献を求められているという意識を持ち続けて参ります。

生涯スポーツ優良団体

国分寺合気会

師範 菅原 憲二



この度、公益財団法人東京都スポーツ協会より、令和六年生涯スポーツ優良団体として表彰をしていただきました。本表彰にあたりご尽力いただきました、東京都合気道連盟理事長をはじめ関係者の方々に深くお礼を申し上げるとともに、生涯スポーツ優良団体の名に恥じないよう、国分寺合気会一同気を引き締め、今後一層の精進をして行こうと誓っているところで

この度、公益財団法人東京都スポーツ協会より、令和六年生涯スポーツ優良団体として表彰をしていただきました。本表彰にあたりご尽力いただきました、東京都合気道連盟理事長をはじめ関係者の方々に深くお礼を申し上げるとともに、生涯スポーツ優良団体の名に恥じないよう、国分寺合気会一同気を引き締め、今後一層の精進をして行こうと誓っているところで

国分寺合気会は、昭和六十年に東京都の中央部にある国分寺市で発足しました。諸般の事情で稽古場所はいくつか移転しましたが、主に国分寺市と府中市で活動をし、日曜日の午前と木曜日の夜に稽古を実施してきました。



令和二年に勤務していた防衛省を定年退官したのをきっかけに、現在の府中市栄町に道場を移し、現在は週五日十四時間稽古を実施しています。道場は、近くに武蔵国分寺史跡、南二キロ程の場所に武蔵国総社の大國魂神社のある幹線道路沿いにあり、JR中央線国分寺駅、JR武蔵野線北府中駅、京王線府中駅からもアクセス可能な場所です。道場を現在の地に移転したが、正にコロナ禍の始まりの時、当初二カ月間は稽古が出来ない状況で、その後も試行錯誤の中で稽古を続ける状況でした。苦しい中でも、今まで無事稽古を続けることが出来たのも、稽古に通ってくれる道友の皆さんが居てこそと、改めて感謝しています。

合気道と出会って半世紀を過ぎました、本部道場では、植芝吉祥丸二代目道主、植芝守央現道主のお教えいただくことが出来ました。また、有川定輝九段には受けを取らせていただきました。今まで多くの先生方に教えていただいた合気道の教えを、一人でも多くの人に伝えられるように、これからも稽古を頑張っていこうと考えています。国分寺合気会は、老若男女誰もが楽しく稽古が出来る事を目指しています、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

新規加盟団体紹介

飛鳥合気道

代表 寺門 信行

この度、東京都合気道連盟に再度加盟させて頂きました飛鳥合気道と申します。

私共の会は平成十八年一月より発足し、現在には主に北区桐ヶ丘体育館武道場で稽古を行っております。

基本技を中心に稽古を行い、会の指針は「みんなで元気に愉快地に稽古しましょう」です。怪我防止のため、入念な準備体操とストレッチ、稽古後の整理体操も入念に行っています。

北区教育委員会から「社会教育関係団体」の承認も頂きましたので「地域への貢献」を果たすべく、合気道初心者講習会等も行っています。

一人一人の技術向上と健康増進に努め無理のない、力に頼らない稽古を心掛けています。日々感謝の気持ち忘れず、精進していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



後援報告 中央区合気道連盟合同稽古

令和六年四月七日(日)、桜の舞い始めた季節に、中央区春季区民体育大会の一環として、中央区総合スポーツセンター武道場にて、

東京都合気道連盟のご後援を賜り、講師に本部道場指導部より鳥海幸一師範をお迎えし、第五四回中央区合気道連盟合同稽古を開催しました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で合同稽古が中止や縮小を余儀なくされておりましたが、五年ぶりに協賛団体の皆さまをお招きして開催することができ、十二団体、九十五名の方々が参加しました。

糸田会長から開会挨拶、続いて鳥海師範からのご挨拶に続き稽古が開始されました。鳥海師範から基本技から応用技まで、一つ一つ丁寧なご指導をいただき、合気道を始めて間もない初心者や上級者、また初めて鳥海師範の指導を受ける方々なども真剣に稽古に励みました。

このように五年ぶりに皆様と良い稽古と交流が出来ましたことは当会にとつても大きな喜びであり、またこの場をお借りして開催に際しての皆様のご尽力に感謝申し上げます。(記・中央区合気会 武藤亜紀子)



加盟団体紹介

八広合気道クラブ

会長 井上直樹

八広合気道クラブは墨田区八広地域の父兄たちが子供達の放課後に運動の場を与えたいとの経緯があり故正木弘先生に指導をお願いして昭和五十七年に立ち上がったクラブです。また、昭和六十年十二月には本部道場より菅原繁師範の指導を賜り現在に至っております。無謀にも創立早々に全国少年少女合気道錬成大会に参加したと聞いております。寺島中学校柔剣道室五十畳ほどですが最盛期には三十名越えの子供たちが稽古に励んでいました。毎年の夏の合宿、クラブの演武大会など楽しみがありました。ただ残念なのは、それまで指導してこられた正木弘先生が令和二年十二月十七日逝去されたこと、コロナ感染拡大のため、今は子供たちを含めて会員が二十名弱と激減した状況です。それでも稽古を継続する環境を維持することやわかりやすい指導をする事によって

会員も増えていくと考えます。今年一月二十八日(日)に縁のある団体の参加も得て八広合気道クラブ創立四十周年記念演武大会・祝賀会を寺島中学校、近所の区立集会所で挙行了したところですが、次に向けていろいろなチャレンジをして地域に密着した合気道の普及、会員の増加に取り組んでいきます。



緑が丘合気会

代表 岡田 康太郎

緑が丘合気会は、七十代から中学生まで幅広い年齢層の約二十名の仲間たちが、岡田康太郎先生のご指導の下、真剣に丁寧にも、しかも楽しく稽古に励んでいます。男女比もほぼ半々なので、とても明るく和気あいあいとした雰囲気です。週二回の稽古は目黒区の施設を利用して行います。体術を中心にした稽古ですが、ときに杖を使うこともあります。自然で美しい動きになるよう、岡田先生や高段者が丁寧に指導してください。また、初心者には別メニューで受け身の練習からしっかり学んでもらい、そのあと徐々に一般の稽古に入るようにしていきますので、合気道の経験がなかった方も継続しやすい環境です。

本会は、今年創立三十周年を迎えました。記念の懇親会では、長くいらつしやる方々からさまざまなエピソードが語られました。が、技の基本を大事にしながら合気道を楽しみむ本会の特色があらわれたお話ばかりでした。これからも一同、この良き伝統を大切にして稽古を続けていきます。(記・南 博通)



計報

渡邊隆志氏

渋谷区合気道同好会代表
東京都合気道連盟理事
令和六年三月三日逝去 享年七十四

石原 忠男氏

調布合気道会会長
東京都合気道連盟参与
令和六年四月二十八日逝去 享年八十三

渡邊隆志理事を偲んで

東京都合気道連盟理事長 藤城 清次郎
去る本年三月三日、多くの道友に愛された渡邊隆志理事が逝去されました。享年七十四歳、あまりの突然のお別れでした。まだまだご活躍頂きたい方でした。

故渡邊隆志理事は平成二十年の四月に都連の理事に就任なされ、十六年の永きに亘り都連では中心的役割を果たされました。最近では東京武道館の広域合同稽古の担当役員として活躍されておりました。

一方、平成二十六年には(公財)東京都体育協会(現東京都スポーツ協会)から「生涯スポーツ功労者表彰」又、令和二年度には主催する渋谷区合気道同好会が「生涯スポーツ優良団体表彰」を授与されています。

都連の定例理事会の席では渡邊理事の発言が会議の方向に影響を与えることが屢々ありました。時には昭和然とした保守的な意見を述べられることもありましたが、それも皆が笑って受け入れてくれました。常に氏の暖かいお心を感じ取っていました。印象的な濃い眉毛、野武士然とした風貌から飛び出す駄洒落、周囲の人を引き付け魅了してしまうのは氏の広く優しい心、お人柄故だと思えます。返す返す惜しい方を失いました。



去る二月十一日(日)東京武道館の演武発表会には演武者をお引き受け頂きました。しかし、その直前に内臓

に疾患が見つかり手術が必要となりましたが、外見上普段と全く変わらぬ様子でした。偶々手術の日程が延期、演武発表会後の二月十四日に入院と決まり、演武会出場可能となりました。全く手術に対する不安を微塵も見せず、「渡邊です。入院は二月十四日です」とその時の携帯ショートメールの遣り取りが今も私の手元に残っています。

東京武道館大武道場での我々観客の前で披露された、この時の演武が最後の演武となっていました。和田哲史四段、生田泰宏参段の受けお二人を相手に七段位に相応しいゆつたりした演武をご披露いただきました。演武後、会場における記念写真で満面の笑みを浮かべた受けの方々との写真が遺影となっていました。永きに亘り合気道の普及発展に尽くされた事に深く感謝申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

石原忠男会長を偲んで

調布合気道会 理事 西村 美佐子

石原忠男会長との出会いは、十五歳で拳勇館道場入門した時でした。大谷一校先生の下、兄弟弟子としてとても親しみやすく接してくれました。お仕事の都合で五年程、群馬で生活された期間もありましたが、大谷先生の傍らにはいつも石原会長がいて、深い信頼で結ばれているお二人の絆が特別な安心感を与えてくれ、私が合気道を長く続けてこれたのもこの安心感に包まれていたからかも知れません。

会長になられてからも人の悪い事は一切言わない、いつも穏やかな人柄は変わらず、子供達に「先生、鼻毛出てる〜」などと言われても、「なに言ってるんだよ〜」と優しい笑顔で応じておられました。本当に皆に愛され慕われた先生でした。石原会長が守り育てて下さった調布合気道会。その教を大切に、これから



は私達が守り育てて参ります。沢山の感謝と思ひ出と共に。石原会長、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

新役員紹介

理事 梶浦 真

稲門合気倶楽部

今般二年務めた監事を退任し、理事に復職しました。加盟団体の皆様のため、しっかりとお役を務めるように頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



監事 野瀬 輝男

板橋区合気会

理事長

微力ながらも東京都合気道連盟発展のため職責を果たして参りたいと思います。宜しくお願い致します。



東京武道館主催行事

令和六年度広域合同稽古

第三回 九月十九日(木)

講師：佐々木貞樹 本部道場指導部師範

第四回 十一月十四日(木)

講師：伊藤 眞 本部道場指導部師範

第五回 令和七年一月十六日(木)

講師：梅津 翔 本部道場指導部師範

第六回 令和七年三月十三日(木)

講師：日野皓正 本部道場指導部師範

令和六年度合気道錬成講習会

期日：令和七年三月二十日(木・祝)

場所：東京武道館

主要行事予定

東京都合気道連盟主催行事

令和六年度初心者指導法講習会

期日：令和六年七月二十八日(日)

場所：港区スポーツセンター

講師：森 智洋 本部道場指導部師範

令和六年度東京都合気道演武大会

期日：令和六年十一月十六日(土)

場所：東京武道館

令和六年度少年部指導法講習会

期日：令和七年二月二十三日(日・祝)

場所：港区スポーツセンター

講師：日野皓正 本部道場指導部師範

(公財)合気会主催行事

第二十一回全国高等学校合気道演武大会

期日：令和六年八月一日(金)

場所：東京武道館

第十四回国際合気道大会

期日：令和六年九月三十日(月)

場所：オリピック記念青少年総合センター

(場所) オリピック記念青少年総合センター

(公財)日本武道館主催行事

令和六年度地域社会合気道指導者研修会

期日：令和六年十二月二十一日

場所：東京武道館

場所：東京武道館

場所：東京武道館

場所：東京武道館

編集後記

梅雨の中休みにも熱中症警戒アラートが発表され、室内運動施設では空調設備等を活用しての運動が推奨されるようになりました。皆様におかれましては、猛暑の中稽古に励まれていると存じます。

都連主催行事では、参加人数の上限を緩和できるようにしました。取り戻した日常の大切さを忘れないよう、また都連役員への計報に接し、お二人のご功績と在りし日の笑顔も忘れないように心に刻みました。

(記・美濃部)

第40回評議員会資料

資料2

令和5年度収支決算報告

東京都合気道連盟

自:令和5年4月1日 至:令和6年3月31日

一 般 運 営 費 収 入		収 入	支 出	一 般 運 営 費 支 出
	前年度繰越金	4,470,585	組織加盟費	917,000
	連盟会費	2,505,000	通信費	9,670
	その他の収益	63,000	諸会費	52,500
	受取利息・雑収入	27	会議費	763
	評議員会	345,000	事務・消耗品費	83,643
	理事会	0	慶弔交際費	302,565
	錬成大会	148,000	広告費	36,304
7038612	演武大会	1,411,500	事務所管理費	206,500
	都体協助成金	200,000	交通費	33,360
	地域社会研修会	0	支払手数料	9,340
	初心者指導法	206,000	謝礼金等	27,000
	その他	0	評議員会	421,033
	少年部指導法	128,000	理事会	266,000
			錬成大会	107,420
			演武大会	1,705,016
			地域社会研修会	12,463
			初心者指導法	121,075
			広報事業	510,625
			少年部指導法	98,816
			助成金返金・積立金	674,810
			合 計	5,595,903
			収支差額	3,879,209
		9,475,112		1678645
				9,475,112

貸借対照表

資 産		負債及び資本	
郵便貯金	1,337,772	収支差額	3,879,209
三井住友銀行	2,012,845	周年行事積立金	2,500,000
郵便振替	304,036		
現金	120,506		
周年行事積立金	2,500,000		
令和6年東京武道館	104,050		
	6,379,209		6,379,209

資料3

監査報告書

東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎 殿

令和5年度事業状況並びに会計（収支決算書・貸借対照表・収入支出明細一覽）を監査しました結果、正確かつ妥当であることを認めます。

令和6年4月4日

監事 梶浦 真 (印)
監事 堀越 祐嗣 (印)

令和6年度収支予算

東京都合気道連盟

収入の部

款	項	目	予 算 額		
			金額	合計	備 考
会費収入				2,580,000	
	連盟会費		2,580,000	15,000円×172団体	
事業収入				2,204,000	
	講習会	錬成大会(6/23)	148,000	参加費 2,000円×74名 148,000	
	演武会	東京都演武大会(11/16)	1,379,000	演武大会参加費 1,000円×1,001名 1,001,000 情報交換会参加費 450円×84名 378,000	
	講習会	初心者指導法講習会(7/28)	206,000	講習会参加費 2,000円×85名 170,000 4,000円×9名 36,000	
	講習会	少年部指導法講習会(2/23)	126,000	講習会参加費 2,000円×61名 122,000 4,000円×1名 4,000	
		評議員会	345,000	情報交換会参加費 5,000円×69名 345,000	
補助収入				200,000	
	(公財)東京都体育協会		200,000	演武大会助成金	
前年度繰越金			3,879,209	3,879,209	
合 計			8,863,209	8,863,209	

※予算額(収入)は令和5年度参加者実績を元に定めた。演武会差額は御祝金と子供会費の変更のため。

東京都合気道連盟

支出の部

款	項	目	予 算 額	
			金額	備 考
事業費				3,978,000
	組織加盟費	全日本合気道連盟	747,000	年会費
		東京都体育協会	160,000	分担金・賛助金
		東京武道館武道協議会	10,000	年会費
	講習会	錬成大会	108,000	
	演武会	大会諸費	1,706,000	令和5年度実績より講師謝礼地
	その他参加事業	地域社会研修会	13,000	
		初心者指導法講習会	122,000	講師謝礼地
		少年部指導法講習会	99,000	講師謝礼地
	広報	広報誌印刷・郵送費	511,000	(年2回)
	積立金	周年行事積立金	500,000	
管理費				1,474,000
	会議費	評議員会	422,000	
		理事会	266,000	
		周年実行委員会	45,000	
	事務費	通信費	10,000	
		諸会費	53,000	
		事務・消耗品費	84,000	
		事務所管理費	210,000	
		慶弔・交際費	303,000	
		広告費	37,000	暑中・年賀広告
		交通費	34,000	会議交通費を含む
		雑費(支払手数料)	10,000	
予備費				3,413,209
	予備費		3,413,209	
合 計			8,863,209	8,863,209

※予算額(支出)は令和5年度支出額を元に、百円単位以下を繰り上げて定めた。

東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号 (公財)合気会内

電話 03-6457-3315 F A X 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com https://www.tokyo-aikido.com/

